



## 株式会社 リロ・ホールディング

- 期初予想を上回り、中間期としての過去最高益を今期も更新。
- 全セグメントで増収増益を達成。
- 連結消去については、  
J-SOXの対応等によりコスト増加。

(百万円未満切捨)

	07/9中間 実績	06/9中間 実績	前年比	07/9中間 計画	計画比
営業収益	38,832	33,815	+14.8%	37,500	+3.6%
営業利益	1,924	1,596	+20.6%	1,720	+11.9%
経常利益	1,962	1,730	+13.4%	1,750	+12.1%
当期純利益	1,139	946	+20.3%	980	+16.3%
EPS	75.3円	62.9円	+19.7%	64.8円	+16.1%

## セグメント別業績

(百万円未満切捨)

	営業収益			営業利益		
	07/9中間	06/9中間	増減	07/9中間	06/9中間	増減
リロケーション	32,486	28,304	+4,182	908	773	+134
福利厚生代行	3,865	3,703	+162	903	710	+192
リゾート	1,949	1,442	+506	579	511	+68
その他	530	364	+165	52	19	+33
連結消去	—	—	—	▲518	▲418	▲100
連結	38,832	33,815	+5,016	1,924	1,596	+328

# 連結貸借対照表



(百万円未満切捨)

	07/3期	07/9中間		07/3期	07/9中間
<b>流動資産</b>	12,943	12,718	<b>流動負債</b>	10,909	11,224
現金および預金	2,877	2,912	営業未払金	1,606	1,142
営業未収入金	3,011	2,503	短期借入	1,778	2,731
販売用不動産	1,440	1,496	長期借入(1年以内)	30	35
前渡金	3,595	3,805	前受金	4,878	5,200
営業貸付金	520	813	未払法人税等	1,019	554
繰延税金資産	420	168	その他	1,598	1,562
その他	1,080	1,021	<b>固定負債</b>	3,596	3,586
<b>固定資産</b>	12,325	13,661	長期借入	33	33
有形固定資産	3,703	4,565	預り金	3,436	3,435
建物	2,083	2,888	その他	127	118
土地	711	931	<b>負債合計</b>	14,506	14,811
その他	909	746	<b>純資産</b>	10,763	11,568
無形固定資産	1,325	1,311	資本金	2,532	2,555
投資その他の資産	7,297	7,785	資本剰余金	2,725	2,749
投資有価証券	1,512	1,506	利益剰余金	6,464	7,180
保証金	4,645	5,097	自己株式	▲ 1	▲ 1
繰延税金資産	233	242	評価換算差額等	▲ 998	▲ 957
その他	907	940	少数株主持分	41	41
<b>資産合計</b>	25,269	26,379	<b>負債純資産合計</b>	25,269	26,379

リゾート施設取得による増加

リライアンス管理戸数増加による敷金増加

# 連結キャッシュフロー



(百万円未満切捨)

	06/9中間	07/9中間
<b>営業キャッシュフロー</b>	557	935
税金等調整前当期純利益	1,702	1,950
減価償却費	206	302
保証金の増減額	▲ 985	▲ 451
法人税等の支払額	▲ 688	▲ 1,047
その他	322	181
<b>投資キャッシュフロー</b>	▲ 1,579	▲ 1,421
有形固定資産取得による支出	▲ 1,315	▲ 1,052
ソフトウェア取得による支出	▲ 318	▲ 282
有価証券の取得による支出	0	▲ 62
投資有価証券の取得による支出	▲ 115	0
投資有価証券の売却による収入	212	7
その他	▲ 43	▲ 32
<b>財務キャッシュフロー</b>	161	560
借入による収入	471	940
返済による支出	▲ 20	▲ 3
株式の発行による収入	10	47
配当金の支払額	▲ 301	▲ 423

リライアンス管理戸数増加による敷金増加

リゾート施設取得による増加

# セグメント別概況

## リロケーション事業セグメント

### <管理戸数>

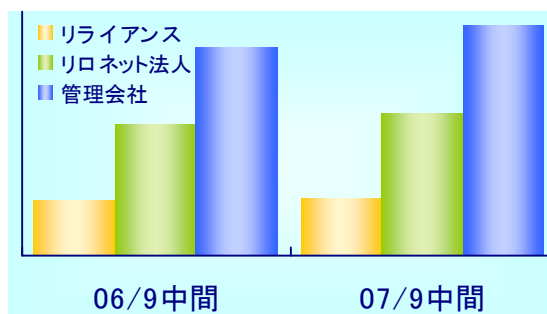
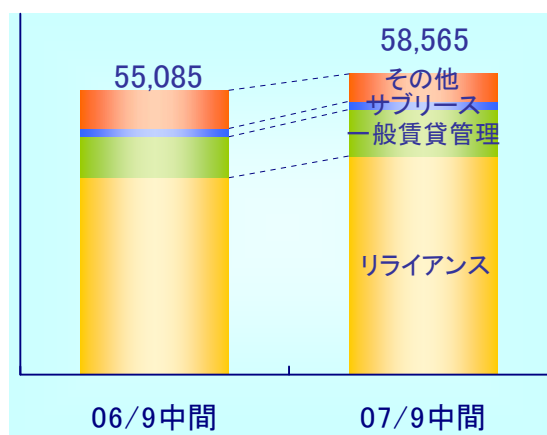
(戸数)

	07/9中間	06/9中間	増減
リライアンス	42,503	37,931	+4,572
一般賃貸管理	9,017	8,351	+666
サブリース	1,668	1,664	+4
その他(管理人派遣等)	5,377	7,139	▲1,762
合計	58,565	55,085	+3,480

### <関連指標>

(社数)

	07/9中間	06/9中間	増減
リライアンス社数	116	111	+5
リロネット(法人)	292	270	+22
リロネット(管理会社)	471	428	+43

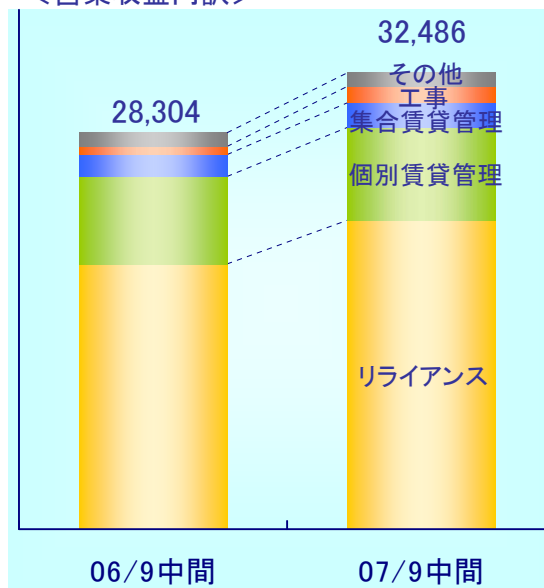


## ○セグメント実績

(百万円未満切捨)

	07/9中間	06/9中間	増減
営業収益	32,486	28,304	+4,182
リライアンス	21,948	18,960	+2,987
個別賃貸管理	6,620	6,119	+501
集合賃貸管理	1,735	1,549	+186
工事	1,307	656	+650
その他(消去含む)	874	1,018	▲144
営業利益	908	773	+134

## <営業収益内訳>



## 総括

- 引き続きリライアンスの管理戸数拡大が寄与。
- 転勤留守宅では、大手企業の社内借上制度廃止によるアウトソーシングを受注し、一般賃貸管理の管理戸数も大幅増。
- リライアンスの管理戸数について、進捗は計画通り。  
今期末のリライアンス管理戸数47千戸(期初40千戸)まで目処。
- 北米事業では米国版リライアンスを開始。駐在員住宅の一括斡旋、生活支援、敷金精算などの受託実績。日米間で赴任～着任のビジネスモデルが稼動。

## ○セグメント実績

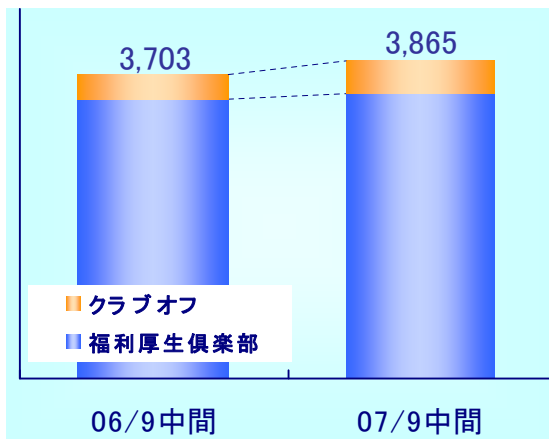
(百万円未満切捨)

	07/9中間	06/9中間	増減
営業収益	3,865	3,703	+162
福利厚生倶楽部	3,461	3,401	+60
クラブオフ	403	302	+101
営業利益	903	710	+192

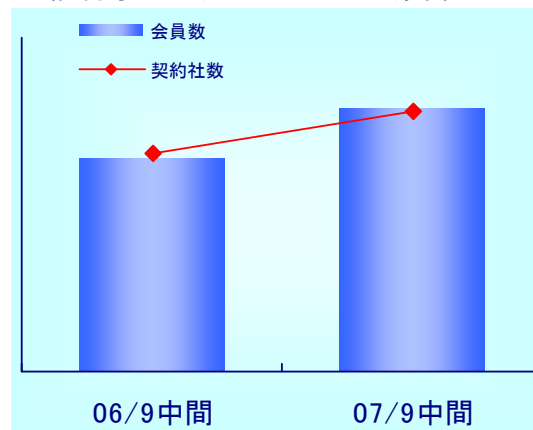
## <関連指標>

	07/9中間	06/9中間	増減
契約社数	6,556社	6,301社	+255社
会員数	157万人	128万人	+29万人
内 ライトプラン	51万人	29万人	+22万人

### <営業収益内訳>



### <福利厚生アウトソーシング会員数>



## 総括

- 「福利厚生倶楽部」、「クラブオフ」とともに堅調に推移。
- 業務統合効果により、業務効率が改善(10月には両事業会社を合併)。
- 大企業案件での価格競争は依然続くが、従来通り採算性を重視した営業姿勢を維持。
- 「ふろむな倶楽部」では、会員(シニア)の囲い込みの一策として新たに企業OB会の運営業務代行サービスを開始。

## リゾート事業セグメント

### ○セグメント実績

(百万円未満切捨)

	07/9中間	06/9中間	増減
営業収益	1,949	1,442	+506
営業利益	579	511	+68

<関連指標>

	07/9中間	06/9中間	増減
施設数	9	8	+1
会員数	2,858	1,876	+982



ポイントバケーション沖縄外観

### 総括

- 9拠点目となる「PV箱根」を7月にオープン。「PV沖縄」は11月にオープン
- 上期での会員は約6百名増加。施設拡大に伴い、新規会員の獲得効率はやや低下したものの、既存会員のアップグレード等により、ほぼ計画通り進捗。
- オフシーズンに向け販売効率の向上が課題。セールスツールの刷新とともに、セールスの基本再徹底を図る。

## その他の事業セグメント

### ○セグメント実績

(百万円未満切捨)

	07/9中間	06/9中間	増減
営業収益	530	364	+165
営業利益	52	19	+33

### 総括

- 対計画においては、連結貢献の読み違いもありセグメント計画に届かなかったが、前期中からスタートした再保険会社が今期は期初から寄与しており増収増益。
- 少額短期保険事業は事前審査に時間を要し当初見込みより遅れているものの、認可取得にほぼ目処。

# 総括

## 総括（今期の進捗について）

- 各事業セグメントとも引き続きフォローの事業環境にあり、業績は堅調に推移。
- J-SOX対応への体制整備等は順調に進行するも、コストは計画超過となる見込み。
- 福利厚生トータルアウトソーサーとしての当社の強みをより活かすべく、期初よりグループ営業の統括推進部門を設置。“クロスセル”をグループとしての重要課題として掲げ活動し、徐々に実績。
- Hawaiian Relocation, Inc.を売却。グループ内シナジーの低い事業は積極的に見直し、ポートフォリオの最適化を図る。



(百万円未満切捨)

	08/3期 計画	07/3期 実績	増減	前年比
営業収益	78,000	69,042	+8,957	+13.0%
営業利益	3,950	3,301	+648	+19.7%
経常利益	4,000	3,441	+558	+16.2%
当期純利益	2,100	1,755	+344	+19.6%
EPS	138.6円	116.4円	+22.2円	+19.0%
年間配当金	34円	28円	+6円	+21.4%
ROE(%)	18.2%	17.6%	—	—

\* EPSは現在の発行済株式数で算出

## 総括（中期経営計画に向けて）

### 既存領域

#### ● リロケーション事業

住宅政策改革に取り組む大型企業が増加。顧客側の広範な問題意識に対応しうるコンサルティング能力を有する営業人員の確保と育成が課題と認識し対応推進。また、引き続き管理業務の効率化を図る。

#### ● 福利厚生代行サービス事業

合併に伴い運営体制の一層の効率化を推進。これと平行して会費収入モデルの発展を図り、収益源の多様化へ取り組む。

#### ● リゾート事業

事業規模の拡大(体験宿泊容量UP、ポイント単価UP etc)による影響を受け難い事業への進化に取り組む。

アップグレード、(体験宿泊だけに依存しない)セールス手法、ホームポイント制 etc

### 拡張領域

- 住まいる事業（住まいるレンジャーRELO24）  
夜間契約先との実績およびノウハウ、ドゥハウは順調に積み上がり。今後、通常工事（原状回復工事、設備営繕工事等）の取り込みを図るべく、24時間フルサポートへの転換を推進。
- 海外赴任アウトソーシング事業  
大規模企業での導入手続期間は当初想定を越える傾向。営業先規模を拡大させるとともに、スポット受注、B2C、付帯関連サービス等による収益ベースの構築への取り組み。
- 北米事業  
旺盛な日系企業の北米進出の動きは変わらず。これを確実に事業に結びつけるべく、米国版ライセンスを中心にストック型サービスを拡充させ、赴任（日本）～着任（北米）での連携を強化し、ストック&フロー型収益構造へのシフトを図る。

### 新規領域

- 少額短期保険事業  
認可取得、事業開始に遅れが生じているものの、先行競合先は当初の見込みを大幅に下回る状況。認可取得後のスムーズな営業立ち上げをはかるべくクロスセルの重点テーマとして取り組み。また大手有力企業からの資本受入も検討。
- リロパッケージ事業  
首都圏を中心に約600店舗による取扱網完成。但し利用者における低認知により実績は計画を下回る。取扱店舗の拡大、取扱方法の理解深化と平行して、大手クレジットカード会社との連携による各種プロモーションを展開中。

## 参考資料

### 2008年3月期 セグメント別計画

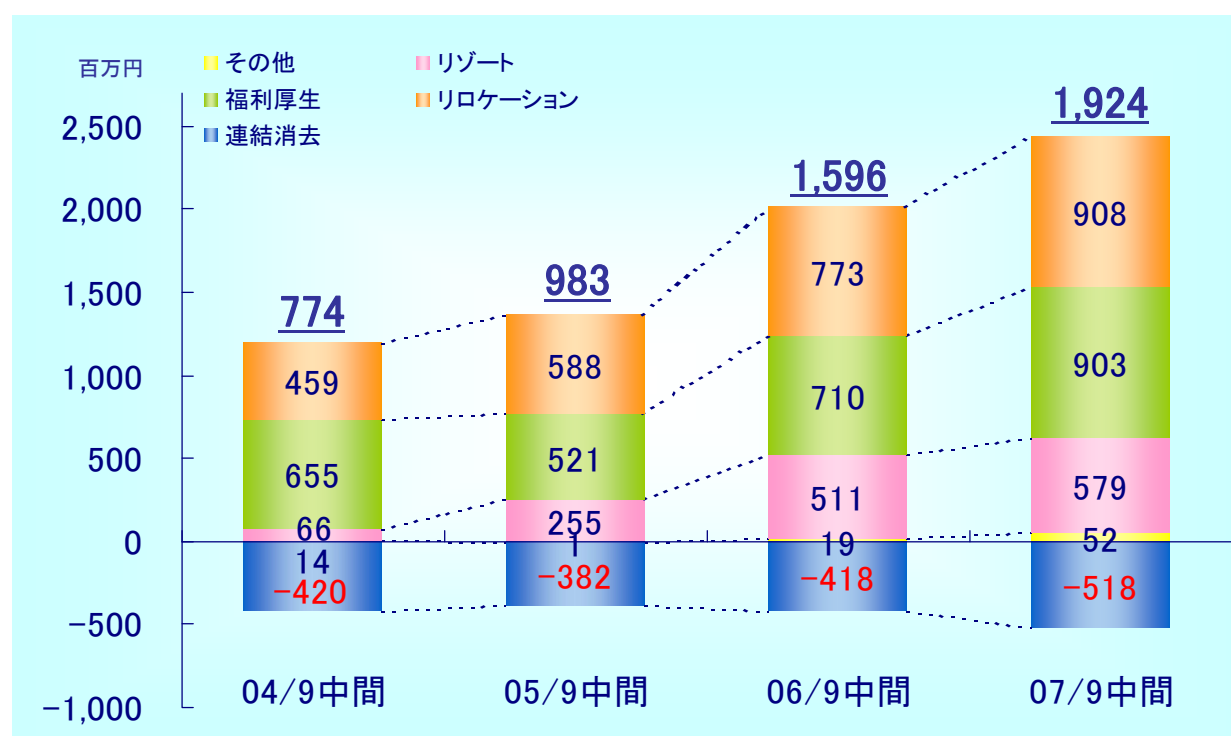
(百万円未満切捨)

	営業収益			営業利益		
	08/3期 計画	07/3期 実績	増減	08/3期 計画	07/3期 実績	増減
リロケーション	65,500	58,133	+7,366	1,950	1,732	+217
福利厚生代行	7,900	7,547	+352	1,850	1,650	+199
リゾート	3,600	2,624	+975	900	672	+227
その他	1,000	737	+262	200	113	+86
連結消去	—	—	—	▲950	▲867	▲82
連結	78,000	69,042	+8,957	3,950	3,301	+648

## 連結業績推移



## セグメント別業績推移



\* 下線数字は連結営業利益



取締役：門田 康

経営企画・IRグループ：北村 真二

TEL: 03-5312-8704 FAX:03-3225-9714

E-Mail: [ir@relo.jp](mailto:ir@relo.jp)

URL : <http://www.relo.jp/>

本資料は、2008年3月期(第41期)中間決算に関する情報提供を目的としており、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

また、本資料は2007年9月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。